

今回の特集 高支持力杭工法

● マエタの高支持力杭工法

高支持力杭工法は、従来の工法に比べて大きな支持力が期待できるので、杭本数が少なく施工長が短く、安価となることから、近年の杭工事の主流となっております。弊社では、杭先端支持力係数（ α ）が $\alpha \geq 400$ の高支持力杭工法を取り揃えており、これまでの豊富な経験をもとに、安全かつ信頼できる設計提案と施工の品質確保を図りながら、マエタの高支持力杭工法をご提案させて頂いております。
現在でも日々進化する工法として、マエタの高支持力杭工法をご採用ください。

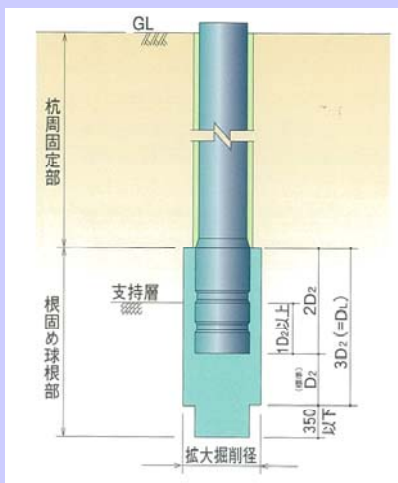
● 多様な地盤に対応した工法と材料のコーディネーション

- ① 砂質地盤、礫質地盤または粘土質地盤の各種地盤に対応した工法の選定ができます。
- ② プレボーリング工法と中掘り工法の選定ができます。
- ③ 豊富な自社製品（MAETA NEWS Vol.11）から、地盤条件に応じた工法と材料のコーディネーションが可能です。
- ④ 関東地区から東北地区まで、どこでも即応できるスタッフと材料供給体制を備えています。

高支持力杭工法	先端地盤係数	適用杭径	先端地盤
H・B・M工法	$\alpha = 400$	$\phi 3035 \sim \phi 8095$	砂質・礫質地盤
EX MEGATOP工法*	$\alpha = 350, 430$	$\phi 3044 \sim \phi 80100$	砂質・礫質・粘土質地盤
Hyper-MEGA工法*	$\alpha = 330 \sim 858$	$\phi 3044 \sim \phi 100120$	砂質・礫質・粘土質地盤
New-STJ工法	$\alpha = 400$	$\phi 600 \sim \phi 1200$	砂質・礫質地盤

* 弊社はEX MEGATOP工法, Hyper-MEGA工法の承認施工会社です。

H・B・M工法

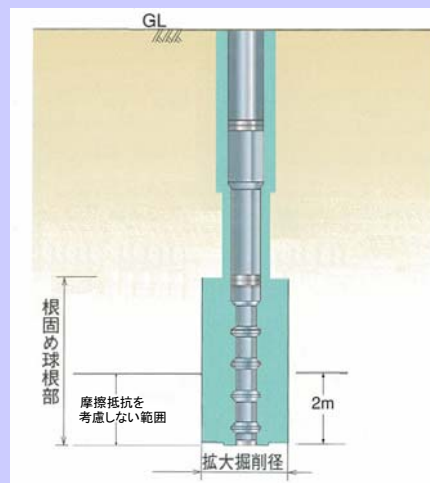


$$\alpha = 400$$

$$\beta = 6.2$$

$$\gamma = 0.8$$

Hyper-MEGA工法

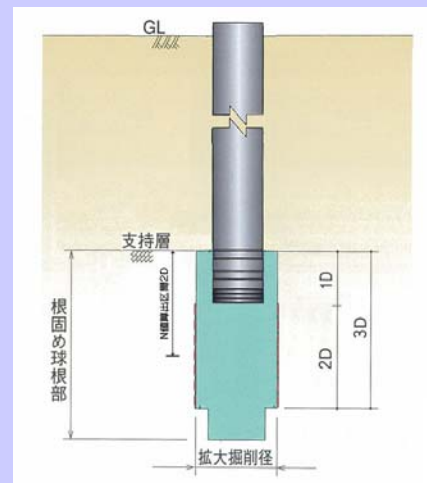


$$\alpha = 330 \sim 858$$

$$\beta = 5.0 \text{ (ストレット部)}$$

$$\gamma = 0.7 \text{ (ストレット部)}$$

New-STJ工法



$$\alpha = 400$$

$$\beta = 2.5$$

$$\gamma = 0.3$$

○ H・B・M工法、EX MEGATOP工法およびHyper-MEGA工法は、周面摩擦係数（ β 、 γ ）が一般の工法に比べて大きいことが特長です。中杭に拡頭杭を組み合わせることで水平耐力を向上させることができます。

○ New-STJ工法、Hyper-MEGA工法では、杭径 $\phi 1200$ まで使用できます。

○ H・B・M工法とNew-STJ工法は支持杭として、EX MEGATOP工法およびHyper-MEGA工法は支持杭ならびに摩擦杭として使用できます。

○ それぞれの工法が、異なった特長を有しており、多様な地盤条件や建物の諸条件に応じた設計が可能です。

前田製品販売株式会社

<http://www.maeta.co.jp>

本社：〒135-0042 東京都江東区木場5-11-17

TEL 03-5621-6475 FAX 03-5621-6455

酒田本社：〒998-8611 山形県酒田市上本町6-7

TEL 0234-23-5115 FAX 0234-23-0093

支店：北海道／青森／秋田／岩手／仙台／山形／酒田／福島／栃木／茨城／埼玉／千葉／新潟／東京